

【資産管理は会社を写す鑑です ～経営活動としての資産管理～】

□よく聞く、資産管理の目的

- ・財務諸表に反映すべく資産台帳の透明性を確保・保持
- ・無駄な購買抑制し、資産の有効利用を図る
- ・内部統制にある資産の保全を守る

会社の財源で購入した資産を
大事に活用し、きちんとした管理を
徹底することで会社の資産・財源を
守ること
=経営活動としての取り組み

□目的が果たせている実務の状態



資産管理が経営活動の一環と言えるのは財源を無駄にしない考えが根底にあるからです。あるなしカウントだけの管理や、帳尻合わせになっている資産管理では、会社が求める資産管理にはなりません。自社の財源を使って資産化したものがどこで、どう活用されているのかを管理し、その結果が、経営の意思決定に反映されるものであることが望ましいです。

【資産管理業務にかかるコストとは？】

社員がやればコストはかからない！？これは幻想でしかありません。当然社員にはお給料が支払われている以上、コストはかかります。管理業務においていかにコストをかけず業務を遂行できるかは、内部統制にもある事業活動の標準化、効率化に絡む問題です。

資産管理業務は1部署だけの業務でなく、資産物品を活用している全ての部署に関わりある業務です。ですから資産管理の目的を果たしつつ、いかに業務効率を上げるかは組織全体から見れば内部にかかる人件費削減、すなわちこれも一つの経営活動であることが言えます。

対象点数:2,000点と想定

従業員数:200名

調査員:各部署担当者

(営業・経営戦略・情報システム

・総務・人事・経理各部署担当6名)

調査員年収:347万円

※統計元:国税庁 平成22年 従業員規模別民間給与実態統計調査結果

棚卸準備

- ・台帳の確認
- ・各部署ごとの棚卸調査シート作成
- ・棚卸作業の指示(協力要請)

棚卸調査

- ・現物確認調査の実施
- ・登録漏れ等の確認
- ・管理ラベルはがれ等のフォロー作業
- ・不明品再アプローチ

データ更新

- ・調査結果と既存台帳の紐付け確認
- ・差異発生品の再アプローチ指示
- ・最新調査結果を台帳に反映

定期管理

- ・毎月の購入・移動・廃棄の取りまとめ
- ・最新データの更新